



1月給食だより

令和8年1月8日

荒川区立原中学校

校長 村松 弘一

栄養士 石井 康子

城野 史奈

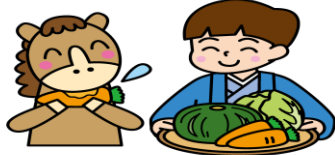
あけましておめでとうございます

冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。

風邪やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気を付けて、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。



今年はずま年!



うまのように野菜を
たっぷり食べよう!



箸をうまく使いこなして
きれいに食べよう!



よく味わってうま味
を感じよう!



1/24~1/30 は
ぜん ごく かつ こうきゅうしよくしゅうかん
「全国学校給食週間」です

学校給食の始まりは明治22年(1889年)にさかのぼります。山形県の小学校で、貧しい子供たちへ食事を提供したのが始まりだといわれています。当時はおにぎりと焼き魚、漬物という簡素な給食でしたが、時代とともにバラエティー豊かな献立に変わっていきました。ですが、いつの時代も変わらずに、「子供たちが飢えることなく、美味しく食べて、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。大人になっても、自分自身で考えて健康的な食生活を送ることができるように、学校給食は「生きた教材」としての大事な役割を担っています。

学校では、昔懐かしのおにぎり、きな粉揚げパン、クジラの竜田揚げなどを提供する予定です。全国学校給食週間は、給食のルーツを生徒にも知ってもらえるいいきっかけになります。

12/8は有機農業の日でした!

12/8は有機農業の日ということで、給食でも有機野菜を使用しました。

有機野菜とは、農林水産省の「有機JAS規格」に基づき、化学肥料や農薬を使わずに、土づくりから生産管理まで厳しく管理された野菜のことです。

有機野菜を使うことは、環境負荷の低減や生態系を守ることもつながります。また、実際に食べてみて感じたことですが、自然な力で作られた野菜はうまみがあり、違った味わいでした。

興味のある方はぜひ使用してみてください!

